

第22期第5回 松浦海区漁業調整委員会 議事概要

1 日 時 令和3年8月30日(月) 15時00分から

2 場 所 唐津市水産会館 多目的ホール

3 出席者 松浦海区漁業調整委員

| | |
|---------|---------|
| 会 長 | 川 寄 和 正 |
| 会長職務代理者 | 池 田 宏 子 |
| 委 員 | 荒 卷 繁 男 |
| 〃 | 坂 本 安 則 |
| 〃 | 川 口 安 教 |
| 〃 | 梅 崎 博 昭 |
| 〃 | 宮 崎 雅 司 |
| 〃 | 坂 口 正 人 |
| 〃 | 後 藤 政 則 |
| 〃 | 福 良 繁 一 |

4 臨席者 佐賀県水産課

| | |
|--------------|--------|
| 漁業調整担当 係長 | 寺田 雅彦 |
| 海区漁業調整委員会事務局 | |
| 事務局長 | 中牟田 弘典 |
| 主任主査 | 真 島 健 |

5 議題及び議決事項

- (1) なまこ漁業特認許可方針(案)について(諮問)
・・・・・・・・原案どおり承認
- (2) 資源管理手法検討部会参考人について(報告)
・・・・・・・・事務局から報告
- (3) 太平洋クロマグロの遊漁に関する委員会指示について(報告)
・・・・・・・・事務局から報告
- (4) 令和3年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議における
佐賀県の要望事項について(報告)
・・・・・・・・事務局から報告
- (5) 水産流通適正化法について(報告)
・・・・・・・・事務局から報告
- (6) その他
・・・・・・・・事務局から次回の委員会の日程等について説明

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者

| | | |
|----|-----|---------|
| 議題 | 1 | 中牟田事務局長 |
| 議題 | 2・3 | 真島主任主査 |
| 議題 | 4 | 中牟田事務局長 |
| 議題 | 5 | 中牟田事務局長 |

(2) 質疑応答

【議題（1）について】

(川口委員)

小川島の海士仲間は、漁期を10月から3月まで、1日の操業時間についても11時から16時と決めて採捕しているが、この期間ではとりつくしてしまうのではないか。

⇒ (中牟田局長)

漁獲にあたっては、漁獲報告をしっかりと県に上げる必要があります。今回は最大の日数、それと時間帯も最大の時間帯で今回ご提案をさせていただきます。

(梅崎委員)

操業時間は短いに越したことはない。時間が短ければとる量も少なくなる。とった代わりに県の放流事業などで資源保護をするなど、建前があると皆さんの協力も得やすいと思う。

⇒ (中牟田局長)

今回の漁業の許可方針には、漁業を営む資格に適切な資源管理を实践できる者という表現があります。漁獲成績報告の中でこの場所でとりつくさないように、次の年も漁獲できるように種苗放流をしてもらうような意味合いでこの文言を付けております。種苗放流をした実績等を求めたいと考えています。

(池田委員)

潜水士の標旗について、素潜りする方よりもその他の漁業者や遊漁者が、そこで素潜りをしているという標旗であるという認識がないと、事故を防げないと思うので、許可を申請される方含め、それ以外の漁業者等の方にもこの特認許可を出すにあたっては今一度、漁業者等全体に周知をお願いしたいと思います。

⇒ (中牟田局長)

許可の発出にあたっては、通常の県のホームページで公示するのみならず、関係者の方にここは素潜りで漁業者の方が操業されるということをしっかりお伝えしようと思います。特に遊漁者を管理する関係機関に、今回の操業区域内で素潜りをされる方がいらっしゃるの、そこで操船されるのは非常に危険である周知します。

【議題（2）について】

質疑なし

【議題（3）について】

質疑なし

【議題（４）について】

質疑なし

【議題（５）について】

質疑なし

【議題（６）について】

（荒巻委員）

ごち網の漁業者さんから操業区域の拡大の要望があります。関係者との調整の手順をお尋ねしたい。

⇒（中牟田局長）

ごち網だけでなく、他の許可漁業についても漁業種類や地区間で調整が必要で、その後、漁協や支所において協議し、合意形成がなされた後、要望書を上げていただき、委員会で審議することになります。